

白馬

はくば

議会だより

121号



この地から、育て!プロの山岳ガイド

大雪渓で白馬山案内人組合役員の林さんから
指導を受ける白馬高校山岳同好会メンバー

■ 村政を問う 一般質問 …………… 8

- ・ 北城南部地区ほ場整備の地権者負担は
- ・ 観光局の今後の運営については
- ・ 環境の新基準に住民意見の反映は
- ・ 病児・病後児保育の取り組み状況は
- ・ 平成28年度末の滞納金額は
- ・ 固定遊具つき公園の建設再検討予定は
- ・ 国土調査事業成果の課税反映は

■ 4年間の議員活動がスタート …………… 2

議会基本条例施行元年 各自の目標とともにごんばります

■ 2億859万円の大型補正 …………… 4

主にこんな事業に充てられます

■ 委員会の運営も新たに …………… 16

テーマを決めて月1回は委員会を開催(総務社会委員会)
政策提言につながる調査・研究を(産業経済委員会)

■ 夢、私たちに。わたしのひとこと …………… 18

表紙写真説明は17ページに

平成29年7月31日発行

活動がスタート

例施行元年 標とともに

ります!

安心・安全に生活できる白馬村
を目指して、努力します。



太田 正治
産業経済委員長

村民の目線で村民の立場で、
初心を忘れず尽力します。



田中 麻乃
産業経済副委員長

産業経済委員会



北澤 禎二郎
議長

人口減少・低成長時代の投資先は人。
住民の幸福度アップにブレない。



伊藤 まゆみ
議会報委員長

議長に選任され、再度大役を務めることとなりました。議会は住民と行政の橋渡し役です。大きな声、小さな声、声なき声、すべての声を把握して、これらを代表して正確に行政にお届けするのが役目です。何を言っても変わらないと思われているとすれば、議会の責任も重大です。行政に対して批判、攻撃が目的ではなく、合理的、効率的に行わせることが目的です。安心で豊かな暮らしを守るために、住民の皆様と行政、議会が一体となって取り組めるよう頑張りたいと思います。

適時適切な政策提言と、成果等を
厳しくチェックが基本姿勢です。



松本 喜美人
監査員

2期8年の経験を活かし、行政の
チェックと皆様の声を届けます。



太田 伸子
議会運営副委員長

※左ページが総務社会委員会、右ページが産業経済委員会のメンバーです。

4年間の議員

議会基本条 各自の目

がんば



丸山 勇太郎
総務社会副委員長

美しく永続性のある村づくり
のため行政とともに働きます。



篠崎 久美子
総務社会委員長

住民目線で行政をチエック。
PDCAサイクルを持った
能動的議会へ。

総務社会委員会



加藤 亮輔
総務社会委員

村営バス、複合図書館、給食費
無償化等の実現をめざします。



津滝 俊幸
副議長

議員に求められる事は、企画力(政策提言)、行動力(リーダーシップ)、発言力(ディベート)とされています。議会も常に向上心を持ち、村民の為の政治とは何かを求めつつ、「明るく、豊かな村づくり」を目指して議会運営を進めてまいります。

思うだけではなく、願うだけでなく、語るだけでなく、議会が、今から本気の一步を地域の皆様の先頭に立つて進むこと、その一步が、人とひとつをつなぎ、地域力になっていくよう頑張りますので、よろしくお願い致します。



田中 栄一
議会運営委員長

村ごと運動公園を目指します。



横田 孝穂
総務社会委員

住民の声を生かし、若者に夢を。
お年寄りに生きがいを村政へ。

F W T

(フリーライド・ワールド・ツアー)^注に

1億500万円など大型補正を可決

6月議会では平成28年度の繰越事業の報告や、年度末3月31日に改正された国の法律に合わせるために、村の条例を変更した報告を受けました。

また、2億859万円の増額補正を可決しました。主な財源は地方創生交付金5000万円、F W T 負担金5000万円や交付税措置がある(地方交付税として戻ってくる)3650万円など国からの交付、負担金が観光課関連の事業に充てられます。道の駅の調査委託料も1300万円は国からの交付金です。

今回の補正 **2億859万円**は
主にこんな事業に充てられます

総務課

- 新・道の駅調査委託料…………… 1600万円
- E V自動車イベント委託…………… 500万円
- ノルディック・コンバインド ワールドカップ開催他…………… 800万円

観光課

- バックカントリースキー関連委託料…………… 900万円
- マウンテンバイク関連委託料…………… 1000万円
(コース実地調査・市場ニーズ調査)
- F W T (フリーライド・ワールド・ツアー)
実行委員会負担金 …………… 1億500万円
- トレイルラン実行委員会負担金…………… 250万円
- グリーン白馬ブランド&プロモーション負担金…………… 1000万円

建設課

- 岩岳トンネル、水神宮橋…………… 2800万円

※注 FWT は非圧雪、非人口斜面で行われる最先端のスノースポーツ「フリーライド」の世界一を決める大会。昨シーズン1月に当村八方池山荘付近をスタートに、アジア初の選手権が開催された。

産業経済

「世界No.1スノーリゾート」と
「通年マウンテンリゾート」を見据えた観光戦略事業に
～地方創生推進交付金を含め1億3750万円の増額～

産業経済委員会

●平成29年度白馬村一般会計補正
予算

歳入歳出予算総額に2億
859万2千円を追加し、予算
総額を67億6359万2千円と
するもの。

○農政課関係

農地費の65万3千円の減
額は嘱託職員の退職のため
217万6千円の減額と臨時職
員賃金1名分152万3千円の
増額によるものなど。

○建設課関係

新設改良費道路1950万円
は村道改良国庫補助事業予算で、
国の交付金内示によるもので、実
施設委託料860万円の減額
工事請負費2810万円の増額。

問 岩岳トンネル工事の現状
は。

答 平成28年度繰越事業とし
て、水路、コンクリート舗
装工事、平成29年度予定として漏
水防止、トンネル前後の舗装修
繕。

○観光課関係

●観光総務費15万9千円は嘱託
職員の報酬、観光施設整備費
574万2千円は平地観光施設
管理事業と、地域おこし協力隊
員の費用及び嘱託職員報酬。
●観光宣伝振興費1億3730万5千
円は、観光振興負担金及び業務委
託料等。

●観光安全浄化対策費629万4千
円は、観光浄化対策関係団体負担
金453万6千円及び修繕費の
175万8千円。

700万円、市場ニーズ調査に
1000万円を予定。

問 昨年のFWT大会も唐突
であり、遭難対策を山岳
関係者としつくり詰め、ことが
あった時の対応をマニュアル化
していくことが必要では。

答 バックカントリーの安全
対策について、雪崩等に
対応するためビーコンやエアバッ
ク等の装着推進し、安全啓蒙を凶
ることが大切。事故に対しての
安全対策が出来なければ村有地
を貸さないという条件。そのこ
とにより推進交付金が採択され
ている。

▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定

●平成29年度白馬村水道事業会計
補正予算

問 MTBコースはどの程度
費用がかかるのか。
地方創生推進交付金を使
用し、岩岳ゲレンデで2
コースを実施設計委託料として

資本的支出の予定額の補正は、
建設改良費に679万9千円は人事
異動による増額。
▽委員全員の賛成により可決す
べきものと決定

●陳情第6号 新法「民泊」に関す
る陳情書

陳情者
八方尾根観光協会、白馬五竜観
光協会、白馬岩岳観光協会、白馬
さのさか観光協会

要旨
新法「民泊」制定に関する村条
例制定と、違法宿泊業者取締強化
を求めるもの

問 旅館業法は県のみで村に
あるのか。国で既に制定
した法律に反して村で条例制定
が出来るのか。

答 村には規制はない。法律
を逸脱する訳にはいかな
い。

白馬のように宿泊施設の稼働
率の低い観光地で、民泊に関する
制限の必要性は理解できるが、運
用面で省令等がないので、条例制
定は法的に難しい。届出制、許可
制等国の今後の動向などを詳し
く研究していきたい。今回は継
続審査にしたい。

▽委員全員の賛成により継続審
査にすべきものと決定



新たなスキーの魅力発信の起爆剤となるか
昨シーズン行われたFWT(右ページ最下段※参照)の表彰式

総務社会

新たな道の駅建設検討の調査事業に着手

国の補助金を含め1600万円を増額

その絞り込みが、その中からなのか、それ以外の場所なのかは、現在では答えを控えていただきたい。

どと聞いている。主催は白馬E Vクラブ。

総務社会委員会

●平成29年度白馬村一般会計補正予算

歳入歳出予算総額に2億859万2千円を追加し、予算総額を67億6359万2千円とするもの。

○総務課関係

●国の先導的官民連携支援事業補助金1300万円の交付決定を受けて、道の駅事業調査費に1600万円の増額。
●国からの助成金500万円を財源として、E.V(電気自動車)のイベント開催や啓発を民間に委託する地球温暖化対策事業委託料の増額など。

問 昨年のヤフーの調査結果から道の駅建設候補地を1カ所に絞り込んだのか。

答 結果は5カ所であったが、庁内検討委員会でデータを参考に1カ所に絞り込んだ。

問 調査事業を含め、今後の進め方は。

答 調査は公募型プロポーザル方式を予定しており、補助金の関係で来年2月末までに調査の成果報告が求められるので、これに沿って進めていきたい。

問 新たな道の駅の建設で、目指すものは何か。

答 村長公約でもあるが、コミュニティの場所、緊急避難場所、お客さまによってもらえる施設がどうしても必要だと思っている。

問 委託料があがっているE Vラリーのイベント内容と、主催者は。

答 イベントは9月上旬に2日間、白馬47を会場に開催する予定で、E.V普及に向けたセミナーの開催、試乗会の開催など。

○教育課関係

●新給食センター建設国庫補助金について、29年度当初予算時の国の示す建築単価と、実際に発表された建築単価の差額分347万8千円を減額。
●ふれあいセンター3階にコピー機1台を設置したことにより、使用料51万6千円の増額。

○生涯学習スポーツ課関係

●来年2月にノルディックコンバインのワールドカップ開催決定を受けたこと、村内各種スキー大会、スポーツイベントの運営補助にかかる臨時職員賃金(6月から3月まで)10カ月分として142万9千円を増額。
●同大会の実行委員会への負担金800万円の増額。

問 ワールドカップ大会負担金についての特定財源の有無、また、スポンサーの確保については。

答 totoの補助金は申請時期が過ぎていて受ける

ず、特定財源はない。スポンサー確保により資金が集まれば村の負担は減っていくので、その方向で調整していきたい。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定

●平成29年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算

歳入歳出予算総額に45万2千

円を増額し、予算総額を8315万2千円とするもの。
●厚生労働省が導入した電算処理システムの基本設定誤りにより、保険料の還付や追納が必要となった。
▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定



7月から店内改装し、集客力アップをはかる道の駅・夢白馬

● 6月定例会 議決結果 ●

件名	議決結果
白馬村税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 賛成：全員
白馬村都市計画税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 賛成：全員
白馬村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 賛成：全員
白馬村保育料条例の一部を改正する条例の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成28年度白馬村一般会計補正予算（第8号）の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成28年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第3号）の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成28年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成28年度白馬村下水道事業特別会計補正予算（第6号）の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成28年度白馬村農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成28年度白馬村水道事業会計補正予算（第5号）の専決処分報告について	承認 賛成：全員
平成29年度白馬村一般会計補正予算（第1号）	可決 賛成：全員
平成29年度白馬村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決 賛成：全員
平成29年度白馬村水道事業会計補正予算（第1号）	可決 賛成：全員
追加議案	
工事委託に関する協定の締結について	可決 賛成：全員
物品の取得について	可決 賛成：全員
白馬村農業委員会委員の任命について	可決 賛成：全員
議員発議	
「テロ等準備罪＝共謀罪」の運用の凍結を求める意見書を政府及び関係行政庁に提出することを求める意見書（提出者：加藤 賛成者：伊藤）	否決 賛成：伊藤、丸山、田中（麻）

発議

「テロ等準備罪＝共謀罪」の運用の凍結を求める意見書(案)

趣旨説明 【加藤亮輔議員】

共謀罪法案は国会に提出される前から、市民の人権や自由を広く侵害するおそれが強く、憲法違反ではないかと多くの人が不安と疑念を感じている。国会審議を通しても疑問が解消できず、世論調査では

77.2%の人が、政府の説明は不十分と答えている。

主権者である国民の疑問が解決していない中での強行採決は到底認められない。しっかり国民に説明し、納得できるまで共謀罪法の運用は凍結すべき。

● 陳情等文書 ●

提出者	住所	要旨	付託委員会	審査結果
八方尾根観光協会 協会長 丸山 和博 白馬五竜観光協会 協会長 矢口 健治 白馬岩岳観光協会 協会長 松島 芳明 白馬さのさか観光協会 協会長 長沢 政章	白馬村	新法「民泊」に関する陳情 要旨は、新法「民泊」制定に関する 村条例制定と違法宿泊業者取締強化	産業経済委員会	継続審査 賛成：全員

臨時会を開催 7月5日

去る7月5日に、副村長を新たに迎えるための条例改正等の臨時会を開催しました。

● 第3回臨時会（7月5日） 議決結果 ●

件名	議決結果
白馬村副村長定数条例の一部を改正する条例について	可決 反対：伊藤
白馬村特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部を改正する条例について	
平成29年度白馬村一般会計補正予算（第2号）について	承認 反対：伊藤
白馬村副村長の選任について	

質疑

副村長定数条例一部改正について

加藤亮輔議員

副村長を二人にする理由として、質の高い住民サービスを実現するためとの事だが、具体的な説明を。

村長

社会経済の施策の把握、分析、立案能力を有し、法律にも精通した人材を希望。具体的には、地域を巻き込めるコミュニケーション能力、一次産業と三次産業をつなげ、インバウンドによる外貨獲得の恩恵が受けられる取り組みを希望。

職務内容は、集落内の移住者や外国人と旧来の住民間のコミュニティの形成、大規模開発の規制や景観の維持、環境整備、観光エリアと農村集落エリアのゾーニング等。

職務は、地方創生担当、国での経験と知恵を生かした各課の課題解決、国との折衝。地方創生事務の推進以外の事務及び村政全般は太田副村長が担当する。

一般質問

(紙面の都合上、質問者本人が要約し掲載しています)

村政を問う

安全で活力ある
村づくりをめざして

臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、村長や教育長などの方針を問うものです。

白馬村は1問1答方式で、1人60分の制限時間内であれば、質問回数に制限はありません。

議会だよりでは、紙面の都合上、質問者が要約して掲載しています。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしています。

質問内容

- ・北城南部地区ほ場整備の地権者負担は
- ・観光局の今後の運営については
- ・環境の新基準に住民意見の反映は
- ・病児・病後児保育の取り組み状況は
- ・平成28年度末の滞納金額は
- ・固定遊具つき公園の建設再検討予定は
- ・国土調査事業成果の課税反映は

フォトニュース



夏の風物詩？

毎年「海の日」のこの日に、次の週に控える「白馬クロスカントリー大会」開催に向けた草刈りが行われる。大会関係者、区の役員、行政職員、そして議員も参加し、大会の成功を願って汗を流す。今年は20回目の記念大会だ。

問 北城南部地区ほ場整備の地権者負担は

答 算定はまだであるが、当然発生する



太田伸子議員

【土地改良事業について】

問 北城南部地区ほ場整備事業の対象条件は。

答 受益面積が10ha以上で、担い手農地利用集積率が増加することが条件です。

問 事業を促進するにあたり、地権者の間で負担金がないとの意見を聞くが真実か。

答 これまでのほ場整備を行った地区よりは負担金は少ないと考えますが、当然負担金はあります。しかし、国への事業採択に向けて書類作成を行っている段階でありますので、負担金の算定額は、まだ決まっていま

せん。

問 国の有利な制度があるならば、活用することには歓迎するが、神城ほ場地区の地権者は、長年にわたり土地改良区へ償還金を収めた経緯がある。村民に対して公平に扱ふことの村長の考えは。

答 神城ほ場地区が、長年償還金を支払ったことは承知しています。今回の制度は、その償還金負担が軽減される有利な制度であることから、ぜひ事業を推進したいと思っています。

問 農業経営高度化促進事業（促進費）を受けるための条件は。

答 ほ場整備後の担い手への集積率が85%以上とすると、最大の事業費の12.5%の促進費の交付が受けられます。想定される事業費は12億円であり、補助割合は、国55%、県27.5%、地元負担17.5%です。促進費

12.5%の交付を受けられることになれば、財源的にも大変有利に事業を進めることができることとなります。

問 教育課と子育て支援課の課長兼務は

答 マンパワーが足りず負担を掛けている

【行政組織改正について】

問 教育委員会の3課制にした行政組織改正のポイントは。

答 子どもに関するセクションを教育委員会部局に一元化したことです。子育てや教育に対するニーズが多様化・高度化し、様々な課題に対する専門性の強化と関係者の連携の重要性が高まっています。課題を克服

するには、思い切った組織改革が必要と考え、新たな時代に対応できる体制を構築しました。

問 期待していたが、2課において課長、係長が兼務であること理由は。

答 マンパワーが足りず、職員には負担をかけていると思っています。

問 生涯学習スポーツ課と改正されたが、スポーツ振興部門・社会教育と文化財・生涯学習・子ども会育成会・青少年健全育成・伝統的建造物群保存事業・公民館・村図書館の事業内容を7名体制で十分か。

答 只今、臨時職員を募集しています。



教育委員会の教育課、子育て支援課、生涯学習スポーツ課の3課は
ふれあいセンター3階に!!

問 観光局の今後の運営については

答 現状の財政では3年後に存在できない



篠崎久美子議員

業の起業や事業拡大、人材育成をする。

問 事業推進において観光局の役割は。

答 マーケティング、プロモーションを主導、地域受け入れ態勢の整備など。

問 観光局は地域版DMO候補人として1年目だが、財政面も含め今後の運営については。

答 国内外観光客への積極的な観光事業の推進をしていく。会員は13期では22件加入するも17件が廃業するなど、現状の財政状態では3年後に局は存在し得ない事態。手数料収入などを含め財源を見つける必要があり、村の委託事業以外の事業運営について研究しつつある。

答 バックカントリースキー国際大会(FWT)の開催、トレイルランニングやマウンテンバイクの環境整備としてコース整備、案内表示、事業者誘致マーケティングなどを実施。総額1億3500万円、うち国の交付金5000万円、FWT事務局の負担金5000万円、残りは一般財源。観光の通年平準化で収入と雇用の安定を期待、併せて関連産

業の起業や事業拡大、人材育成をする。

問 予定する教育振興基本計画の状況は

答 村教育大綱の見直しも含め方針を策定

問 「信州型コミュニティスクールなど」

答 両小学校での信州型コミュニティスクール導入への予定、期待される効果は。

問 5月下旬に学校運営協議会を発足、ボランティアを募集し支援をお願いしていく。学校と地域が繋がることで地域全体の活性化の一端も担う効果が望める。

答 学校支援ボランティアの役割は。小学校では学習支援、キャリア教育支援、施設環境に

問 学校支援ボランティアの役割は。

答 小学校では学習支援、キャリア教育支援、施設環境に

関する支援、児童の安全確保の支援、行事支援が望まれている。

問 北小に設置された通級指導教室の内容効果は。

答 LD^{注1}やADHD^{注2}等の児童を対象、白馬、小谷エリアが範囲。障害による学習上や生活上の困難の改善、克服を目的に指導する。個別ニーズに応じたきめ細かい指導ができ、教職員の知識や支援力向上も期待できる。

問 外来植物の駆除については

答 6月中に関係者と駆除体制を検討

問 外来植物の状況と対策

答 外来植物の状況と駆除対策は。

問 セイタカアワダチソウは有志団体による駆除が平成12年ごろから続き、目立たなくなっている。観光地として景観形成上も重要な問題があり、6月中に関係者の打ち合わせ会議を行い検討する。

問 山岳地帯の状況は。住民への啓発は。

答 八方自然研究路ではマツト使用で種の侵入を防いでいることなどもあり、固有の高山植物を駆逐する状況は見受けられない。今後多くの方に駆除活動に参加してもらおうよう努めたい。

*注1 LDとは学習障害、注2 ADHDとは注意欠陥多動性障害の略



特定外来生物に指定されているオオキンケイギク。村内でも急速に繁殖が広がっている

環境の新基準に住民意見の反映は

答 個々の意見の扱いは考えていない



伊藤まゆみ議員

【総合戦略、

新・道の駅計画について】

問 環境審議会への諮問は総合戦略の中で生産年齢人口の増加を図るということもあり、諮問している」と答弁。今回の答申を受けいつまでに基準を作成予定か。

答 素案が示せる段階になったら、環境審議会、議会、住民、事業者への周知期間を経て、来年度には新基準を適用したい。

問 住民が基準に対して意見を述べるのは可能か。

答 個々の意見をどうするかという点については考えていない。

問 「新道の駅」の場所はどのようになり込まれているか。また進捗状況・今後の建設予定は。

答 当村を訪れる観光客、訪日外国人の分布をデータ

問 5つの候補地に絞り込んだ結果報告書を参考に庁内検討委員会

答 1カ所に選定。国交省の官民連携支援事業に応募し採択

問 財政状況が厳しい中、官民連携の注 PPP・PFI 手法を活用する方針。

答 注 PPP・PFI 手法を活用する方針。

問 平成28年度の総合戦略の評価検証はいつどのよう

答 平成28年度に、それまでな

問 総合計画に、それまでな

答 戦略の策定時期が一部重複し、両者ともPDCAサイクルを展開

問 6月定例会後検証作業に入り、発表は本年

答 度中を目安にしている。

注 PPP・PFIとは公共施設等の建設、維持、運営等を民間の資金、経営能力などを活用して行う手法



手を挙げればどこでも乗れるという融通の効く、使い勝手のいいバスだ。上から10人乗り、14人乗り、33人乗り（車いすにも対応）
富山県朝日町

公共交通の充実が必要不可欠では

答 赤字負担が課題で、議論が必要

【公共交通について】

問 高齢者が免許証返納するにあたり足の確保が必要

答 遠隔地からの通学が不便で危ないため、スクールバスへの要望も強い。公共交通の充実が必要不可欠では。

問 赤字負担が課題。新たな交通政策に取り組む場合は、気運の高まりやルート計画

答 資金計画、赤字負担の限度額の設定など議論を重ねることが必要。

問 平成29年度の乗合タクシーの事業費は年間

答 1200万円、ナイトシャトルバスは冬期のみ運行にもかかわらず1300万円。住民福祉より、観光客の利便性に税金が使われていると見られても仕方ないが、観光事業も広い意味での福祉で、そこにお金を使っ

ているという解釈。

問 交流のある富山県朝日町では一般会計の5%を公共交通に充てている。当村に換算すれば2500〜3000万円位になる。乗車予定を伝えることもできるサービス付きだ。当村でも可能では。

答 実証実験結果で現在の形態にしている。

問 返礼品の個人情報の扱いはどこに

答 県など、扱いが違うため研究が必要

問 予算、ふるさと納税について

答 返礼品ごとの件数を聞いたから、個人情報だから出せるか分らないとの回答。黒塗りした書類を提出されたこともあった。個人情報取り扱いはどこに書いてあるのか。

問 自治体や県で、ふるさと納税の個人情報の扱い判断

答 が違う。研究させてもらいたい。

問 病児・病後児保育の取り組み状況は

答 北ア広域連合を主体に考えている



加藤亮輔議員

【子育て支援策について】

問 未満児保育児の受け入れ態勢と冬季の申し込み、入所数は。

答 保育士を増員し、1室を未満児用に変更し、現在38名が利用。12月～3月の冬季間は、現在55名の希望者があり、11月に入所判定委員会を開催し、最大で51名まで可能。また増加傾向の未満児のため、公共施設を利用して小規模保育施設の整備調査を行い、増築等を考えている。

問 自営業者は労働時間と待機時間が区別できない、この時間も入所基準の時間に認めるべきと考えるか。

答 ひと月64時間以上の労働を常態することが基本。サラリーマンも自営業者も同じにみている。提出書類、聞き取りなどで決める。

問 入園希望者が月64時間労働の場合、すべて受け入れられるのか、それとも施設等の関係で断るのか、基本的な考え方は。

答 法の趣旨からいけば預かるのが基本。今冬は1才児22名、2才児23名が希望者全員入園。0才児は、希望者10名の内4名で、希望に添えない状況。

問 一時保育の保育指針と内容は。

答 保護者の疾病・就労・冠婚葬祭などの理由から保育出来ない、10ヶ月から就学前の児童を預かり、季節に合わせた制作活動とおもちゃ、園庭遊び等。保育園の未満児と同じ様に過ごしている。

問 利用理由に保護者の趣味やスポーツ等、保育軽減のためのリフレッシュ保育も可能か。

答 保育のストレス、息抜き等に利用できる。

重要伝統的建造物群保存地区の整備計画は

答 未施工の建物、神社の本殿等の修復を

【青鬼地区の保存と活性化について】

問 地区住民との同意のもとで重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)を観光資源として活用しては。

答 重伝建地区の価値を実感してもらおう観光は必要と考える。しかし、地域の生業や生

活習慣を阻害する観光は、地区の歴史的風致を損ね、農村景観の俗化を招く。規制して住民と観光客の思いを両立させる、良質な観光地振興を図る。

問 青鬼の保存と活性化については、後継者問題と観光客がいながら区域内でお金が回らないのが問題。お善鬼の館を活用して、紫米のおにぎり、加工品の販売。また、重伝建施設を所有者の了解のうえ、宿泊施設に活用

しては。徳島県三好町の重伝建施設は、28年度2500人利用3000万円売り上げています。この様な事業を青鬼区の人と相談しては。

答 今年から集落支援員が加工品の販売を始めた。棚田目的でお善鬼の館は素通り。重伝建地区は重要な観光資源であり、模索しながら対応していきたい。



お善鬼の館を青鬼地区の情報発信基地に育てよう。

平成28年度末の滞納金額は

答 総額約5億2400万円



津滝俊幸議員

【村税及び上下水道料金の滞納金額について】

問 平成28年度末の現年分並びに滞納繰越分について各未収金額や徴収率は。

答 村税では4億8711万円、徴収率は現年分97.6%、滞納分を加えて75.3%。水道使用料の未収金は2924万円・収納率は90.6%。また、下水道使用料は現年分が365万円・収納率98.1%、滞納繰越が758万円・収納率31.6%。

問 差し押さえや、その換価処分状況は。

答 村税では、滞納者の給与、賃借料、不動産や動産の公

売等で換価した金額は1864万円。上下水道使用料では27年度に給料の差し押さえを実施。それ以外は督促・催告状、給水停止通知の発送、給付相談の実施による分納誓約など。

問 今後の徴収業務の取組については。

答 村税等滞納整理基本方針を定め、税務課、上下水道課の両課で未収金対象者の情報を共有し、連携した徴収業務を進める。また、平成30年より給与所得者は長野県下一斉に住民税が原則特別徴収となることから、県と連携しながら取り組む。更に、納付については口座振替を推進し、コンビニ収納やクレジットカード収納は、課ごとに実施しているが、一元的におこなえるよう検討する。

問 28年度の不納欠損処理は。

答 村税で約6695万円、上下水道料で約40万円を予定。

特産品への補助金効果は

答 ゆくゆく、特産品になれば補助金の効果はある。

【特産品開発について】

問 特産品開発等活動事業の補助される交付金について、過去4年間に利用した事業者数及び年度ごとの金額は。また、同一事業者の複数年利用は。

答 25年度6団体208万円、26年度4団体116万円、27年度4団体161万円、28年度255万円。同一事業者の複数年利用は6団体。

問 主な事業内容と検証結果は。

答 陸わさび、ほおずき、行者にんにくの栽培や加工、味噌やビールの製造が主なもの。特産品開発補助事業効果調査により、各団体へ現地調査を実施し、その結果、栽培面積や収量、売上も上っている。

問 今後の取組については。

答 毎年申請交付された事業の検証と、更には申請時に



補助事業の食用ほおずき（左）と陸わさび（右）

今後5年程度の計画や目標など説明が必要。交付要綱の見直しも含め適正に事務執行に努める。

人手や人材不足についての認識は

答 観光事業者を中心に苦慮していると聞く

【人手や人材不足と雇用について】

問 人手や人材不足への対応は。

答 有効求人倍率は季節変動が大きいと認識している。労働力の流失防止や移住定住の促進、民間企業間の連携協定、更には、それらをコーディネートする機関の設置など、行政としてバックアップしていきたい。

問 事業者などへ補助事業を活用した、65歳以上74歳までの経験豊かな人材の再雇用を行政側から働きかける考えは。

答 前向きに検討したい。

問 固定遊具つき公園の建設再検討予定は

答 当分は既存施設での対応を



田中麻乃議員

【固定遊具付き公園の建設再検討について】

問 2013年12月に、村内に固定遊具つき公園の建設を求める住民有志の会が、要望書と1336筆にもおよぶ署名を村へ提出した。その後の村の対応は。

答 固定遊具の設置については、充分とは言えないまでも平成26年度には子育て支援ルームに遊具を設置し、少しずつ要望に応えている。

問 各年齢に適した遊具を備えた公園というのは、村が掲げる「子育て」と「教育」のワンストップサービスを提供する

といった村の姿勢からも重要だと考えるが、具体的に建設する予定はないのか。

答 厳しい財政の中ではあるが、村の子育てのために何が大事であるか勘案しながら前向きに検討していきたい。

問 大出公園計画からすでに10年経過し、これだけ固定遊具付き公園を求める声が多い中で、都市公園である大出公園への遊具設置再検討はないのか。

答 村内の都市公園は大出公園のみであるが、景観を楽しむ公園のため遊具設置は考えていない。当面はグリーンスポーツの森や支援ルームなど既存の施設で対応していただきたい。

問 お母さんたちが望む公園というのは幼児から児童の幅広い年齢が遊べる、兄弟がいた家庭でも楽しめる公園である。

既存施設での対応となれば既存施設の遊具をもっと幅広い年齢に対応可能にするため設置すべきでは。

答 必要性は充分認識しているので、検討していきたい。

問 全天候型施設の整備予定は

答 道の駅を含めた複合型施設として検討

【雨の日対策の屋内施設の検討について】

問 白馬村子ども・子育て支援事業計画のアンケートの中で「白馬村の子育ての環境や支援への要望」として雨の日、雪の日に遊べる施設整備が一番多い結果である。この結果を受け

て村はどのような対応をしているのか。

答 アンケート結果は大規模施設の要望かと考えている。現段階では具体的な整備は行っていない。

問 同じ雪国である新潟県長岡市では、都市公園の中に全天候型の広場と子育て支援施設を一体に整備した公園を実現。財源は横断的に交付金をうまく使い確保している。村でも工夫し検討しては。

答 自主財源が少ない中で事業を進めていく上では、

色々な交付金を組み合わせながら、庁内でも横断的に進めていくことは大事だと考えている。

問 公園のような福祉施設における民間業者との連携による収益向上への取り組みについてはどう考えているか。

答 PPP・PFI方式^注・指定管理者制度の中で対応可能と考えている。

※注 PPP・PFIとは公共施設等の建設・維持・運営等を民間の資金、経営能力などを活用して行う手法



(写真参考) 長岡市子育ての駅てくてく: 全天候型施設を整備した都市公園。(こそだてのえき facebook ページより)

問 国土調査事業成果の課税反映は

答 原則は承知だがコンセンサスが必要



丸山勇太郎議員

【国土調査事業（略称「国調」）と村道認定事業】

問 国調の実績と見直し、道路内民地の扱い。村道確定事業の基本方針と和田野から始めた理由は。

答 昭和63年に神城南部から始めて進捗率60%。現状終わりは見通せない。道路内民地は非課税扱いとし寄付をお願いしている。村道確定事業は未登記道路敷を確定し寄付を頂く。和田野は外国人取引が増え、立ち合いが困難になっている。

問 国調の第一目的は適正な

賦課徴収。課税反映は全村が終わってからという約束は間違い。半世紀も課税反映させないのは如何なものか。

答 庁内でも以前より問題視している。課税公平性の大原則は承知している。住民のコンセンサスが必要。庁内検討する。

問 分筆・合筆があった場合、面積が減った場合は即課税。それがなかった土地は旧面積。その方が不公平では。

答 30年前は納税者に有利な点だけ考慮した。

問 30年やって全体の60%。まだ20年かかる。30年間という当初の約束は果たしたし誰も損はしない。間違った約束は改めるべき。平成年間を区切りとしては。

答 庁内検討し対応する。

問 村道確定事業は明らかに説明不足。3年前の説明会出席者はたった数名。

答 説明不足をどうするか課内検討する。

問 真っ黒な建物で色彩計画が台無しでは
答 主に外国人が届け出せずにやっている

【色彩計画について】

問 真っ黒な建物が次々出現し、このままでは「まちづくり環境色彩計画」がダメになると思うが。

答 外国人が届け出しないであった場合は改善の願いをし、ニューズレター等発行して

いるが効果はない。

問 「もてなしのしつらえ」は増刷したか。

答 カラーコピーで対応している。

問 しっかり色合いが出せる印刷で追加作成を。

答 冊子があることよって守られるのかは別だが、来年度以降は予算を確保し、できることは一生懸命取り組む。

問 いまや計画が忘れられている。外国人にはごみ出し方やマナー等も含めて、村政要覧のように村の理念を写真付きで啓蒙しては。

答 ニューズレター等ではやっている。

問 外国人がルールを知らずに建物を好き放題に改築している。景観パトロールはしているか。

答 定期的にはやっていない。

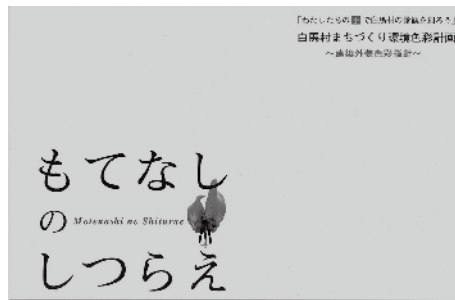
問 外国人がルールを知らずに建物を好き放題に改築している。景観パトロールはしているか。

答 定期的にはやっていない。

問 真っ黒な建物をこれ以上増やしてはならない。塗



指針から外れた真っ黒な建物の事例
多くは外国人が買い取った建物で行われている



色彩計画普及のための冊子『もてなしのしつらえ』
これなくして普及は図れない

答 替え補助金の復活は。根幹施策であり十分検討する。

問 村内塗装業者への説明会は。
答 検討する。

議会改選を経て、新たなメンバーにより各常任委員会がスタートしました。議会基本条例施行元年に当たる今期、次のような取り組みを考えています。

総務社会委員会

テーマを決めて月1回は委員会を開催

〈特に重点を置きたいテーマ〉

1. 広域化を目前に控えたごみ処理問題
2. 観光複合施設、文化複合施設(図書館)の在り方

3. 環境・景観に関わる条例、規則、要綱見直し
4. 総合戦略に基づく移住・定住問題

5. 社会福祉全般(子育て、介護、弱者支援など) ※これらについて、研修等をしながら委員会として課題検討を進めていきます。

〈委員会運営について〉

1. 閉会中も含めた委員会の定例開催

※テーマを決めて月1回以上、委員会を開催します。

2. 自由討議の実現

※予め議会運営委員会及び全員協議会でのルールづくりを前提に、委員会として実施します。

3. テーマを持った視察・研修の実施

※視察は、村外はもちろ
ん、まずは村内をよく
見て歩きます。座学も
含め、重点テーマに関
連した研修を行います。

4. 委員会所管課が関係する機関・団体との意見交換会

※特に、教育委員会(3校
校長等を含めて)・民生
児童委員会とは、必ず
年度内1回は行い、今
年度は社会福祉協議会
とも行う予定です。



産業経済委員会

政策提言につながる調査・研究を

〈特に重点を置きたいテーマ〉

1. 地域産業振興・地産地消・特産品

2. 農林道維持整備・農業施設維持整備

3. 観光の動向と観光振興

4. 村道改良及び維持整備・高規格道路・公園の維持管理

5. 砂防工事

6. 土砂災害対策

7. 上下水道維持整備・下水道加入促進

8. 農業集落排水の維持整備

※これらについて、研修等をしながら委員会として課題検討を進めていきます。

〈委員会運営について〉

1. 閉会中も含めた委員会の定例開催

※必要に応じ委員会を開催します。

2. 政策提言につながる調査・研究

※適宜行います。

3. 視察・研修の実施

※その都度課題に取り組
んでいきます。

4. 委員会所管課が関係する機関・団体との定期意見交換会

※観光局、商工会など
これらの委員会活動を通
して、提言できる議会を
目指したいと考えます。



【事前告知】

村民の皆様と、議会との、『意見交換会』を開催します！

日時 10月29日(日)午後1時30分～4時30分まで
(時間に追われないよう、ゆったりの3時間にしてあります)

場所 ふれあいセンター 2階学習室 (役場駐車場横)



まだ詳細は固めていませんが、全体意見交換と、いくつかのグループに分かれた意見交換を行います。意見が出やすいように工夫する予定です。9月定例会後に詳細をさまざまな媒体でお知らせします。

あなたのご意見をお聴かせください！

現場視察

白馬リサイクルセンター計画が具体化し設計段階へ



6月議会最終日、ごみ処理広域化の一環で建設される(仮称)白馬リサイクルセンターの建設予定地を視察しました。

場所は、現在の白馬山麓清掃センターの道を挟んで反対側、「ふれあいの杜公園」の一部を使って建設されます。

完成すれば、分別した資源ごみは平日いつでも無料で出せ、焼却ごみは現在清掃センターで試行しているように、指定ごみ袋により持ち込んでパッカー車に積み替えるというものです。

平成30年度中の完成を目指して計画を具体化していますが、出来るだけ早期の完成が待たれます。

グリーンシーズンの目玉に育てたい 岩岳マウンテンバイク観光、青鬼伝統的建築物群を視察

松川、小谷、白馬 三村議員交流会

7月7日、三村(松川、小谷、白馬)議員交流会を白馬で開催しました。この交流会は、近隣の同じ人口、財政規模の中で村内の出来事や行政事業、議会運営等の情報交換です。

以前は、プレー中でも交流、対話がしやすいとの事でマレットゴルフが主流でしたが、最近は、各地域の動きや活動を知りたい、学びたいとの意見もありホットな現場で話を聞く視察研修会が多くなりました。

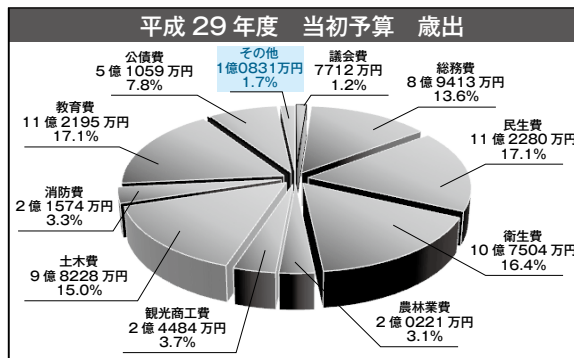
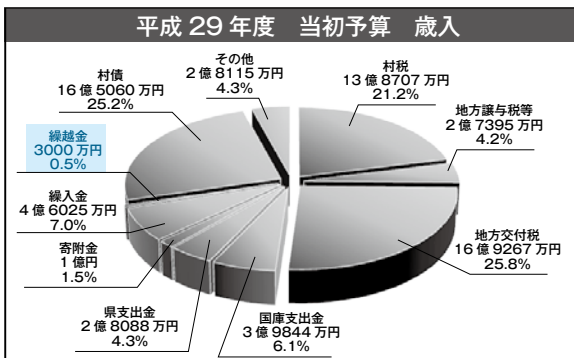
今回は、グリーンシーズンの目玉に育てたい、サイクリング観光に関連して、岩岳スキー場のマウンテンバイク、ゆり園事業。また伝統的建築物群保存事業を継続している青鬼地区を視察し、村の特産品、紫米栽培と棚田の維持活動なども併せて関係者から研修を受けました。

白馬観光開発(株)岩岳本部、青鬼地区の関係者のみなさん、丁寧なご説明有難うございました。



青鬼地区の歴史を学ぶ
お善鬼の館

3村研修会



訂正
4月発行の議会報120号
2ページの予算のグラフに誤りがありました。正しい数字は左記グラフの青の部分になります。訂正してお詫びいたします。



表紙の写真説明

5月27日に行われた開山祭で、白馬高校山岳同好会のメンバーは駐車場整理などのボランティアを行い、その後大雪渓までトレッキングをしました。同行した林信之山案内人から雪渓での注意点など、山に関する指導を受けました。この地からのプロを育てる一歩と大いに期待しています。

ご意見を
お寄せください。
85-0725(直通)
72-7001(ファックス)

むらの未来が見える
(6月定例会の傍聴者延べ23人)

議会傍聴においでください
次の定例会は 9月 本会議はユーテレ白馬でご覧いただけます

夢、私たちに。

わたしのひとこと



四季を楽しめる白馬

エコランド 屋田 翔太

白馬村はとにかく季節感を楽しむことの出来る地域だと思う。いつでもカメラを持ち歩いている事がライフスタイルの自分にとっては、毎日が撮影日和で景色が次から次に変わり飽きの来ない日々を過ごすことができている。

基本は白馬を拠点に生活しているのだが、8年間は仕事の関係で白馬の四季を感じる事ができなかった。

去年は久しぶりに年間を通して生活することができ、どの季節もその季節に応じた楽しみ方があるのだと改めて感じ、充実した1年だった。他地域で仕事をし、一時的に生活をしていたからこそ、より白馬の良さを感じる事ができたと思う。

このような背景があり観光業に携わる自分は、更に白馬の観光が盛り上がるように、この季節感を活用した楽しみ方や遊び方を発信することで、より多くの方に白馬に魅力を感じて頂き訪れてもらえるように頑張りたい。



トレイルランへの想い

八方 丸山 修一郎

9月10日に「第7回白馬国際トレイルラン」が開催されます。私は実行委員会メンバーとして参加しています。

去年は、RUNNETという日本最大ランニングポータルサイトで、年間300大会といわれるトレラン大会の中でレポート評価1位を頂戴しました。大会運営には多くの人員が必要ですが、中でも白馬中学校は生徒70名ほどが参加してくださり、選手や大人のボランティアスタッフから「中学生の対応や働きが素晴らしい！」と多くのコメントを頂きました。

また選手やスタッフの参加理由も「白馬で開催されるから」「白馬の為に力になりたい」とのコメントが多数あり、この村を想う気持ちで大会が成り立ち、その思いが先述の評価に繋がる事ができたと感じています。

今大会も訪れる多くの方の為に「絶景」を感じられるものに作り上げたと思います。



白馬村に移り住んで

白馬町 山本 拓真

私が白馬村に移り住み、早いもので7年が経ちます。生まれは東京都多摩市。東京とはいえ多摩丘陵の並びにあり、自然に触れながら育ちました。

葉の道に入り、「中医学」に出会い、学ぼうちに先生から「健康のためには季節・旬のものを大事にしろ」と言われました。東京にいた時はピンとこなかったのですが、ここに来たらそれがよくわかりました。

白馬村は風景もそうですが、食事においても四季・旬があります。そして、それが生活に密着しているのです。そう思ったら、村の皆様が元気なことや、長野県は長寿県という事にも納得がきました。

自然豊かな環境で生活し、子供を育て、村の皆様の健康に携われる仕事ができる事をうれしく思います。白馬村、ありがとう。これからも私の立場から見える村の良さを見つけ、発信していきたいと思っています。

編集後記

4月の一般選挙後に新しい議員が選出されて、議会報の編集委員会も新しい体制になり、初めての議会だよりとなりました。

若い世代が政治に無関心であることはよく言われることですが、若い世代が政治に興味を持つ、参画していく、そのためには私たち議員が情報を発信していく、議会の透明化を進めていくことも大事だと思います。

若い人が一人でも多く「白馬議会だより」を手に取り、村議会に興味を持ってくれることを願いつつ、私たち編集委員も力を合わせて、村民の皆様から親しまれる議会だよりを作って参ります。

(田中 麻乃)

議会報調査編集特別委員会

議長	北澤 慎二 郎
委員 長	伊藤 まゆみ
副委員 長	田中 麻乃
委員	丸山 勇太 郎
委員	太田 正 治
委員	加藤 亮 輔
委員	田中 榮 一
委員	津滝 俊 幸

白馬議会だより 121号 平成29年7月31日発行
 発行 長野県白馬村議会 編集 議会報調査編集特別委員会 印刷 P O 印刷(株)
 〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村
 ☎ 0261-72-5000 FAX0261-72-7001
 http://www.villhakuba.jp/assembly/assembly.html E-mail gkai@villhakuba.jp